

## \*\*\*\*\* 社会学研究法 a 最終課題 \*\*\*\*\*

### 論題

「授業で取り上げた分析技法のいずれかを用いて、授業中に提示したデータを自由な視点から分析し、結果について論じなさい。」

### 詳細

「大阪の大学生の生活・意識に関する比較調査」または「学生の恋愛観に関する調査」  
「JGSS-2000」のデータを使用する（※望むなら他の授業等で扱っているデータでもよい。ただし、レポートの中できちんと調査の説明をすること [いつ、どこで、誰が集めたどういう調査か]）

回帰分析、クラスター分析、因子分析のいずれかで分析

分析の目的は完全に自由

「目的」「方法」「結果」「考察」を分けて書く

### 形式

A4 用紙

2000 字以上（図表は使用スペース相当で字数換算）

レポートの常識は守る（表紙を付ける、ホッチキスで留める、ページ番号を付ける等）

提出日：7 月 27 日（金）10：00～17：00、7 月 28 日（土）10：00～18：00

提出場所：教務センター（第 2 学舎 1 号館 1 階）

※それ以降も 8/3(金) 17 時まではメールで特別に受け取る。ただし、やや減点。  
⇒ tyasuda@zf7.so-net.ne.jp あてに Word ファイルの添付メールで提出。  
折り返し保田からメールを出す（48 時間以内に返信がない場合、受理していないので注意）

### データについて

「大阪の大学生の生活・意識に関する比較調査」

- ・ 2008 年 9～12 月に実施
- ・ 大阪商業大学 社会調査研究会が調査主体
- ・ 大阪の 4 大学（大阪商業大学、大阪産業大学、近畿大学、大阪大学）の学生が対象
- ・ 各大学で 1、2 個の授業を用いて配布・回収の集合調査
- ・ 回収標本 347 人（集合調査のため回収率は算出できない）
- ・ データは通常の分析に適するようにリコーディングをほどこしている

「学生の恋愛観に関する調査」

- ・ 2014 年 6 月に実施
- ・ 関西大学社会学部 保田ゼミ 2 期生が調査主体
- ・ 関西大学と大阪大学の学生が対象
- ・ 計量社会学 I、卒業研究、統計学 A-I の授業を用いて配布・回収の集合調査
- ・ 回収標本 188 人（集合調査のため回収率は算出できない）

「JGSS-2000」

- ・ 2000 年 10～11 月に実施
- ・ 大阪商業大学が調査主体
- ・ 層化 2 段無作為抽出された全国の 20～89 歳の男女が対象
- ・ 面接調査票と留置調査票の両方に回答してもらう形で訪問調査
- ・ 回収標本 2893 人（回収率 64.9%）